

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2017 JA佐渡の経営内容



写真：大型和牛繁殖支援施設「繁殖牛舎」の様子

プロフィール

設立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出資金	25.5億円
総資産	1,220億円
組合員数	15,680人 (正組合員8,215人・准組合員7,465人)
職員数	446人
店舗数	本店、支店 9店

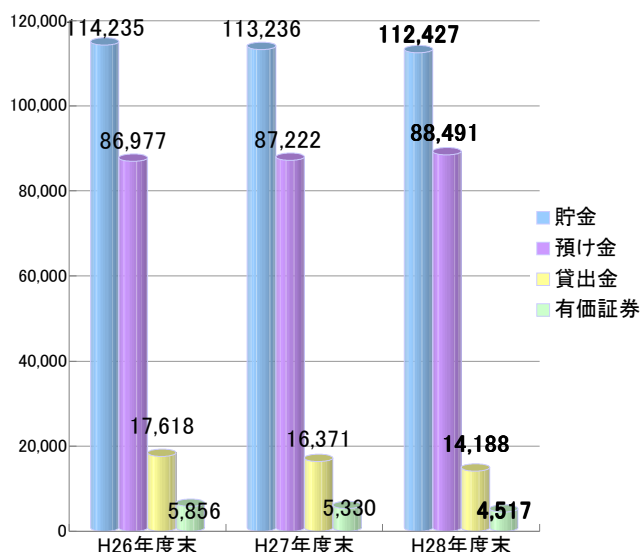
平成28年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の推移

(単位:百万円)

	H26年度末	H27年度末	H28年度末
貯金	114,235	113,236	112,427
預け金	86,977	87,222	88,491
貸出金	17,618	16,371	14,188
有価証券	5,856	5,330	4,517

- 個人貯金の残高は、前年実績を上回ったものの、総貯金残高では公金が大きく減少し前期末より約8億円下回りました。
- 預け金残高は、貸出金、有価証券運用の減少を反映して着実な信連預金を中心に残高増となりました。
- 貸出金は、公金等の大口資金の返済による減少が大きく影響し、新規に証書貸付約12億円を実行しましたが残高は前期末より21億円減少しました。
- 有価証券残高は、低金利の状況から運用残高を伸ばせませんでした。

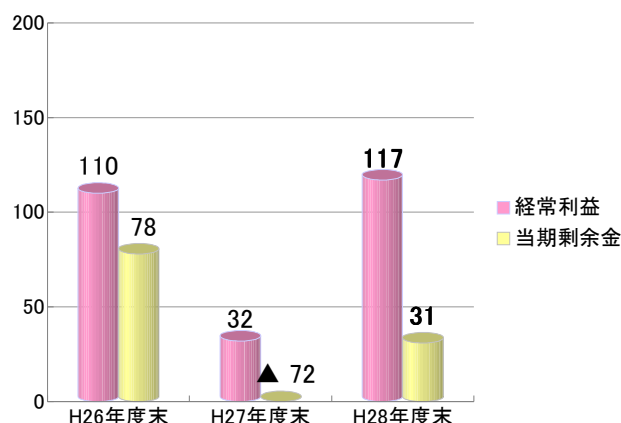


収益等の推移

(単位:百万円)

	H26年度末	H27年度末	H28年度末
経常収益	8,979	8,522	8,369
経常費用	8,868	8,489	8,252
経常利益	110	32	117
当期剰余金	78	△72	31
未処分剰余金	154	90	114

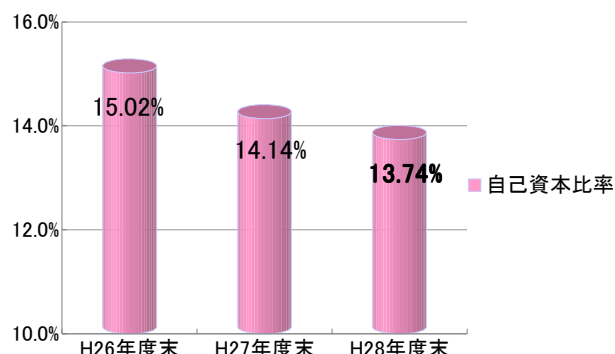
- 平成28年度の事業総利益は前年を46百万円上回り、かつ事業管理費で前年を38百万円下回ったことから、事業利益で68百万円の黒字計上となりました。
- また、最終損益についても31百万円の当期剰余金を計上することができました。



自己資本比率の推移

(単位:百万円、%)

	H26年度末	H27年度末	H28年度末
自己資本額(A)	5,978	5,902	5,856
リスクアセット(B)	39,798	41,743	42,603
自己資本比率 (A)÷(B)×100	15.02	14.14	13.74



- 当JAの自己資本比率は13.74%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。
- 自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや内部留保に努めています。

自己資本比率の算出方法について

- 出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウェイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

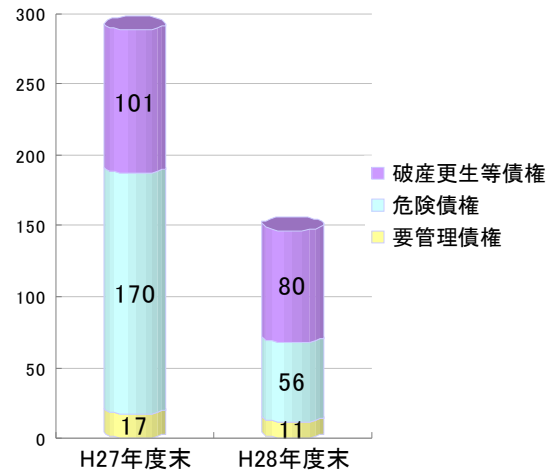
※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

不良債権の状況

金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円 %)

	H27年度末	H28年度末
破産更生等債権①	101	80
危険債権②	170	56
要管理債権③	17	11
小計(①+②+③=A)	290	148
正常債権④	16,282	14,249
債権額合計(A+④=B)	16,572	14,397
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	1.75	1.03



開示債権と保全の状況

(平成28年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円 %)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	20	42	61	100.0	破産更生等債権	80	破綻先債権	9
実質破綻先	82						延滞債権	126
破綻懸念先	82	72	10	100.0	危険債権	56	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	15	-	0	要管理債権	11	貸出条件緩和債権	11
	その他要注意先	588					合計	146
正常先	16,222				正常債権	14,249		
合計	17,012				合計	14,397		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	平成27年度末			平成28年度末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
そ の 他	5,162	5,330	167	4,330	4,517	187
合 計	5,162	5,330	167	4,330	4,517	187

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・暮らしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

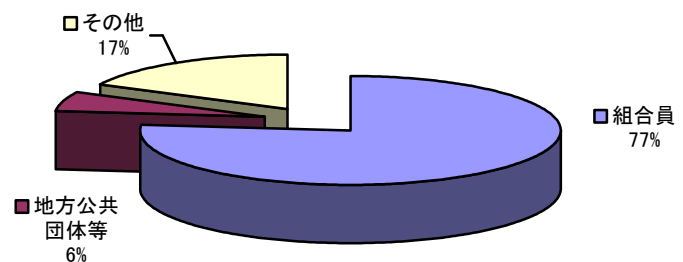
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長、土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様の暮らしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	86,148
地 方 公 共 団 体 等	6,704
そ の 他	19,573
合 計	112,427

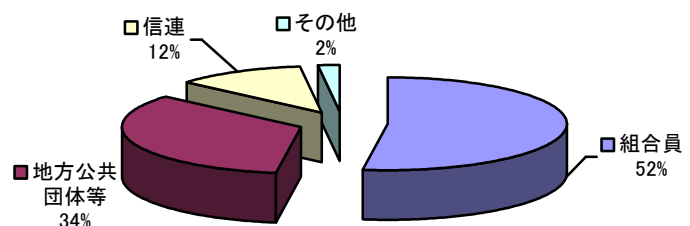


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	7,407
地 方 公 共 団 体 等	4,842
信 連	1,680
そ の 他	257
合 計	14,188



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

主な農業関係の貸出金残高（資金種別別）

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 類	H27 年度 末	H28 年度 末
プロパー資金	1,463	1,119
農業制度資金	228	186
農業近代化資金	127	103
その他制度資金等	101	83
合 計	1,691	1,305

1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

自己改革の取り組み

平成26年度より始まった国による「農協改革」の動きに対し、JAグループは独自に「自己改革」を設定しJAグループを挙げて取り組んでいます。当JAでは第8次中期3カ年計画（平成28年～30年度）に準拠しJA佐渡「自己改革工程表」を作成し、地域座談会や支店別総代懇談会、青年部や女性部等の多様な組織協議に付して、以下の取り組みをすすめております。

◆農業振興等に関する取り組み

佐渡米は最重要課題である1等米比率90%以上の達成に向け「佐渡米未来プロジェクト品質向上90」に引き続き取り組み、延べ400会場での現地指導会等を実施しました。おけさ柿は消費宣伝と需要の喚起による価格の高位安定を図るため、島内・県内はもとより京浜、北海道での販売促進活動に生産者も含めて取り組みました。園芸は新たな野菜産地化を目指したアスパラガスの生産振興に取り組み、平成29年度に向け4ヘクタールの栽培面積と生産者数51名を見通せる段階に至りました。畜産振興については、大型和牛繁殖支援施設の1期工事が平成29年3月末に完了し、繁殖素牛も計画通り30頭導入しました。

これらの取り組みの結果、農畜産物の販売高は66億円となり、自己改革工程表で計画した3年後（平成30年度）の販売計画63億円を初年度で上回る結果となりました。

◆生産資材価格低減の取り組み

肥料価格については、大口奨励や自己引取り値引き、早期納品奨励など、各種奨励措置の拡充、新設によりJAへの予約結集に取り組み、平成29年度の予約肥料価格は平均で10%の価格引き下げを行いました。燃料についても、農繁期キャンペーン等の各種キャンペーンを通じ燃料価格の引き下げに取り組みました。

◆出向く体制に関する取り組み

平成28年度より導入した農機巡回サービスとTACや農業融資担当との連携を通じ、中核的担い手との信頼関係の強化、特に「にいがた農業応援ファンド」や各種補助事業の活用提案、生産コスト低減の一環としての農業機械の事

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

前・事後点検活動に取り組みました。農業融資では、補助金活用とのセットで「担い手支援資金（アグリ1）」を中心に
 出向く融資活動として提案活動を行いました。

◆地域の活性化に関する取り組み

消防法による地下タンクの使用期限の問題から、廃止の方向としていた外海府ガソリンスタンドについては、地元
 組合員からの絶大な増資協力やJA共済連からの支援をいただき、10年間の漏洩防止対策工事を行うことができ、地
 域のライフラインの維持を図ることができました。

◆役員体制の見直しに関する取り組み

政府の求める農協改革に端を発した平成27年の「農協法改正」と当JAにおける組織基盤等の環境変化を踏まえ、
 経営管理委員会制度の今日的意義を含む役員体制について、経営管理委員会並びに役員体制検討委員会での検討を行
 い、将来の環境変化に対応するJA役員役割の大きさから、次期体制においても現行体制とすることとしました。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の
 暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売
 店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役
 として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所 : 平成26年8月にオープンしたJA直営直売所
 「新鮮空間 よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、
 Aコープ各店でのインショップ方式による産直
 コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消
 費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。



写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

◇セレモニーホール : 増加するホール葬需要に応えるために、グルー
 プ会社の運営により島内2か所にセレモニーホ
 ールを設置しております。また、自宅葬や出張葬
 など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引
 き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソ
 リンスタンドを島内3か所に設けております。

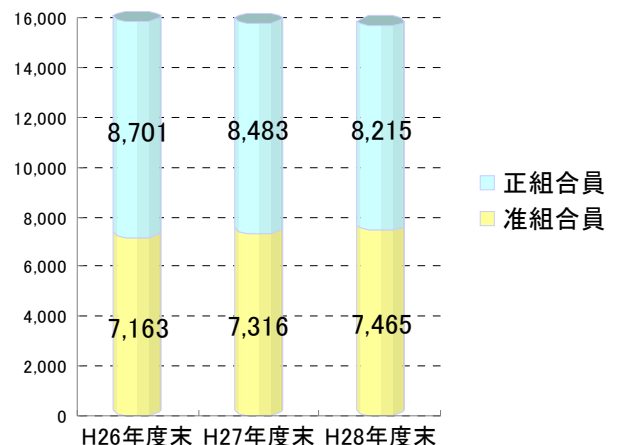
◇総合ポイント制度 : 各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。
 現在会員数は約28,800名のご加入をいただいております。

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り
 組んでおります。

組合員数の推移

(単位：組合員数)

	H26年度末	H27年度末	H28年度末
正組合員	8,701	8,483	8,215
准組合員	7,163	7,316	7,465
組合員計	15,864	15,799	15,680



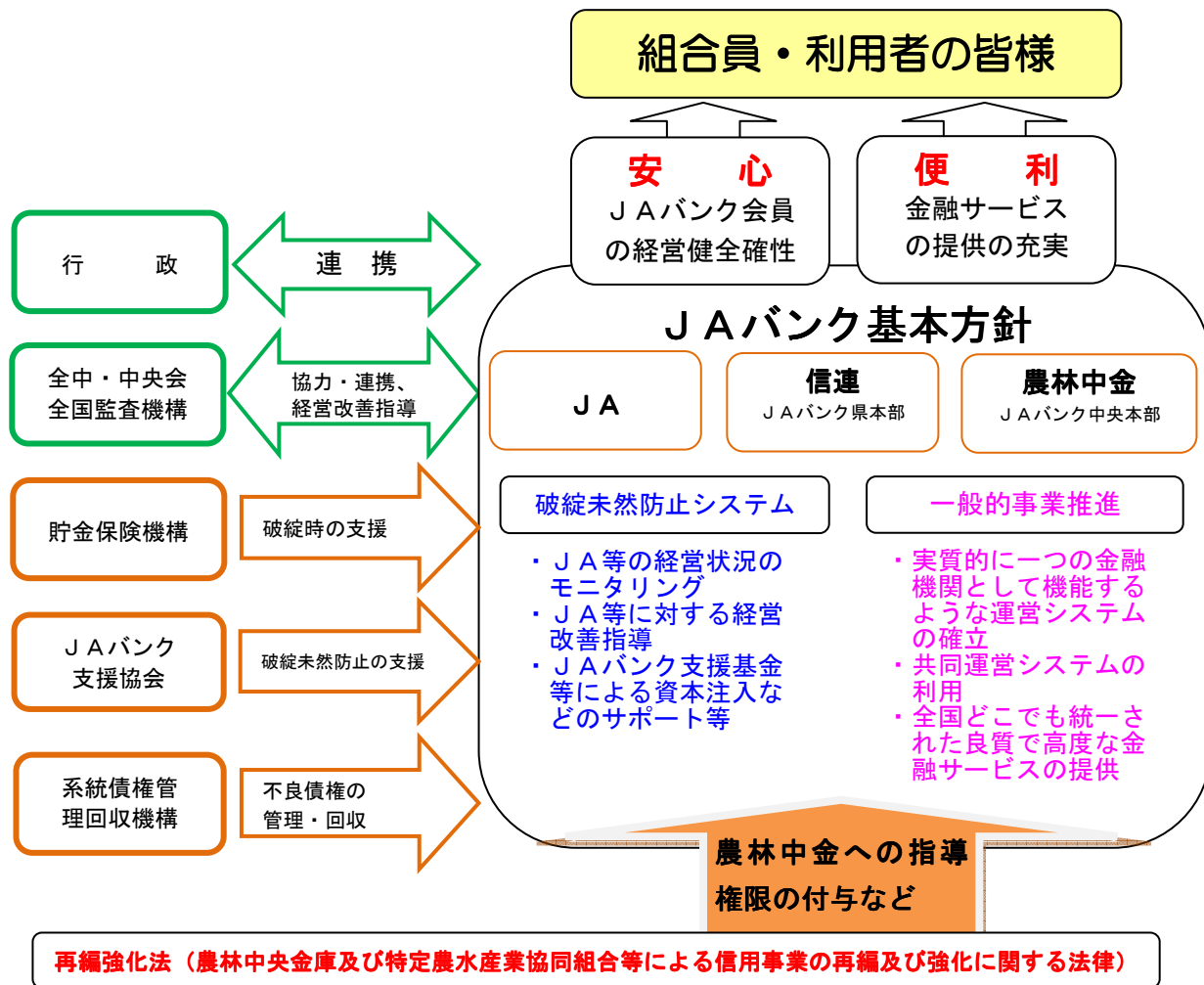
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>



佐渡を世界遺産に

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。